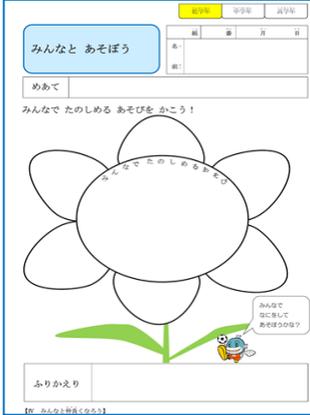


小学校低学年 IV みんなと仲良くなろう

学級活動「みんなと あそぼう」

めあて

みんなで たのしめる あそびを みつけよう



課題発見・解決のプロセス

課題を見つける

見通しをもつ

自分で考える

共に学び合う

学習をまとめる

学習を振り返る

新たな課題を見つける

主な活動内容

- ①みんなは、休み時間どんなことをしてすごしているかを発表し合う。
- ②学級のみんなで遊ぶと楽しいことに気付く。
- ③みんなで一緒に遊ぶにはどんな遊びがいいかを考える。
- ④考えた遊びをペアで交流した後、みんなが楽しんで遊べる遊びを発表する。
- ⑤みんなで話し合った結果を、花の中央に書く。
- ⑥みんなで楽しく遊ぶことを考えて話し合えたかを振り返る。
- ⑦次の時間はみんな遊びの計画を考えることを知る。

留意事項・児童の予想される反応

- ・休み時間は自分の好きな遊びをしているためなかなかみんなと一緒に遊ぶことがないことに気づかせる。
○外で遊んでる。 ○お絵かきしてる。
- ・みんなが仲良くなるために、学級活動の時間を使い学級全員で遊ぶことを伝える。
※学級のみんで楽しめる遊びを考えさせる。
○めあてを書く。
- ・シートの6つの花びらに自分の考えを書かせる。(雨の日にできる室内遊びも考えさせる)
○けいどろ ○こおりおに ○ふえおに ○いすとりゲーム ○伝言ゲーム など
※6つ以上考えた場合は、花びらの外に書くよう指示する
- ・みんなで楽しめる遊びを全体で発表するときは、どうしてその遊びがいいのかを話せるようにする。また、よりよい決め方についても話し合わせる。

キャリア教育の視点

自分の好きなことや嫌なことを相手に伝え、互いに認め合うことを大切にしながら、意見をまとめる。

- ・今回選ばれなかったものについても、みんなのことを考えたよい意見であり、ちがう機会に生かせることを伝える。
- ・自分の意見だけでなく、友だちの意見のよさにも気づかせる。

生活や社会とのつながり

- ・遊び場所は、自分たちだけのものではないので、譲り合って使わなければならないことに気づかせる。

ふりかえり

(例)

- ・みんなのいけんを まとめることって たいせつとおもった。
- ・がっきゅうみんなで なかよくなりたい。

教科等との関連

学活「お楽しみ会を開こう」
道徳「ないた たぬき」
生活「みんななかよし」

小学校低学年 Ⅲ 未来を語ろう

学級活動 「み来のしごと」

めあて

大きくなったらやってみたいしごとをみつけよう

課題発見・解決のプロセス

課題を見つける

見通しをもつ

自分で考える

共に学び合う

学習をまとめる

学習を振り返る

新たな課題を見つける

主な活動内容

- ①自分が好きなことや得意なことについて考える。
- ②学習のめあてをつかむ。
- ③どんな仕事があるかみんなで考える。
- ④出てきた意見をもとに、「いいな」と思う仕事を決め、理由を書く。
- ⑤見つけた仕事をペアで出し合う。
- ⑥自分の将来について考えることができたか振り返る。
- ⑦やりたい仕事をめざして、がんばりたいことを考える。

留意事項・児童の予想される反応

- ※夢の手帖P2を使用しておくのも可。
○サッカーがすき ○本を読むのがすき
- ・今日は大きくなったらやってみたい仕事について考えることを伝える。
○めあてを書く。
- ・自分がやりたい、やりたくないに関わらずいろいろな仕事を見つけさせる。
○野球選手 ○幼稚園の先生
○パティシエ ○レジを打つ人 など
- ・近くの友だちと意見を交流し、自分と違う視点で、仕事を見つけている友だちがいることに気づかせる。
- ・「将来」について考えることが大切で無理に決める必要はない。理由についても、書ける範囲で書かせるようにする。

キャリア教育の視点

友だちの考えに興味を持ち、自分のやりたいことが見つかる。

生活や社会とのつながり

- ・保護者の仕事や身の回りの仕事に興味・関心を持たせる。

ふりかえり

(例)

- ・わたしの知らないしごとがたくさんあった。
- ・やりたいしごとをめざして、がんばりたい。

教科等との関連

学活「日直・係の仕事」
道徳「なおみさんはかだんがかり」
生活「あしたへジャンプ」

小学校中学年 II よりよく行動しよう
IV みんなと仲良くなろう

学級活動 「係活動について考えよう」

めあて

係活動を見直し、工夫できるところを見つけよう。

課題発見・解決のプロセス

課題を見つける

見直しをもつ

自分で考える

共に学び合う

学習をまとめる

学習を振り返る

新たな課題を見つける

主な活動内容

- ①「〇〇係さんへありがとう」に書かれている意見や係にしてほしいことから自分たちの係の課題を見つける。
- ② 本時のめあてを知る。
- ③ 係活動でがんばってきたこと(成果)を振り返り記入する。
- ④ 同じ係の友だちと考えを交流し、がんばってきたこと、できていないと思うところを話し合う。
- ⑤ 自分たちの係をさらに活性化するために工夫できることを考え、発表する。
- ⑥ みんなで工夫を考えることができたか「ふりかえり」を記入する。
- ⑦ 次の係活動についての見直しをもつ。

留意事項・児童の予想される反応

- ・「ありがとう作文」によって自分たちの係に足りないところを考えさせる。
- ・今日は他者の意見から係活動を見直し、工夫できることを見つけることを知らせる。
- ・学級をよりよくしようとする気持ちが高まるように、がんばったことなど肯定的なことに視点をおいて、見直しをさせる。
- ・係の友だちと交流させ、共通する部分を確認させ、活動の改善案について考えさせる。
- ・係ごとにホワイトボードやワークシートなどを活用して話し合う。
- ・改善策とその理由とともに発表させる。

キャリア教育の視点

友だちと協力・共同して、積極的に係活動にかかわりながらよりよい人間関係を築く。

- ・自己の活動についての振り返りと友だちの考えから影響を受けたことについて振り返る。

生活や社会とのつながり

互いに助け、認め合いよりよい集団をめざす活動を通じて、コミュニケーションや豊かな人間関係を築かせる。

ふりかえり

(例)

- ・みんなでいっぱい工夫を考えることができた。
- ・〇△□係が考えた工夫がすばらしかった。

教科等との関連

道徳「個性伸長、勤労」

小学校高学年 IV みんなと仲良くなろう

学級活動「コミュニケーションの達人になろう」

めあて

相手の人がうれしい気持ちになる言葉がけや行動とは何かを考える。

課題発見・解決のプロセス

課題を見つける

見通しをもつ

自分で考える

共に学び合う

学習をまとめる

学習を振り返る

新たな課題を見つける

主な活動内容

- ① 仲よくなりたいのに、どう言えばいいのか分からずに、困った経験を発表し合う。
- ② 学習のめあてを書く。
- ③ シートに自分の考えを書く。
- ④ 考えを出し合い、課題解決の方法を話し合う。
- ⑤ 少人数グループで、「3つの大切」を決める。
- ⑥ 全体交流で、3つの大切を出し合いシートに書く。
- ⑦ 教師の話聞き、学習の「ふりかえり」を書く。
- ⑧ 異年齢集団の活動で、相手の立場に立って行動できることを考える。

留意事項・児童の予想される反応

- ・「一人でお弁当を食べている人がいる。誘ってあげたいと思うけど、なんだか言い出しにくい。」といった生活上の例を紹介して説明する。
- ・相手をうれしい気持ちにさせる伝え方について考えることを知らせる。
- ・効果的なものとそうでないものを考えながらまとめさせる。
- ・効果的かそうでないかの判断を児童と確認しながら、効果的と思われる意見を分類して黒板に整理していく。
- ・3つではなく、1つや2つでもよい。
- ・相手の人がうれしい気持ちになる言葉がけや行動で大切にしたいことを3つ決める。
※3つの大切は、理由や例を挙げて説明させる。

キャリア教育の視点

思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え行動しようとする。

- ・児童が挙げたワードを取り上げ、生活や社会での場面事例を紹介し、相手の立場等を理解し、協力することの大切さを伝える。

生活や社会とのつながり

多様な集団・組織の中でコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組みさせる。

ふりかえり

(例)

- ・仲良くなる秘訣が分かった。これからは自分から積極的に行動して友達と仲良くしていきたい。
- ・これからは相手がうれしい気持ちになるようなことを考えていきたい。

教科等との関連

道徳 わたしたちの道徳
「気持ちを伝える言葉」

小学校高学年 Ⅲ 未来を語ろう

学級活動 「働く理由について考えよう」

めあて

何のために働くのかについて考える。

課題発見・解決のプロセス

課題を見つける

見通しをもつ

自分で考える

共に学び合う

学習をまとめる

学習を振り返る

新たな課題を見つける

主な活動内容

- ①自分の身近な人たちは、なぜ働くのかを考える。
- ②身近な人の働く理由を参考にして自分の将来のことを考える。
- ③働く理由について自分で考えたことをシートにまとめる。
- ④考えをグループや学級で交流する。
- ⑤話し合いを参考にして自分の考えをまとめる。
- ⑥学習したことを振り返る。
- ⑦自分がやってみたい仕事や働くときに大切にしたいことについて調べる。

留意事項・児童の予想される反応

- ・生活のため以外の理由があることも気づかせる。身近な人たち以外の憧れの人についても考えさせる。
※インタビュー等で実際に聞き取らせるとよい。
- ・仕事の内容や賃金、労働時間などの条件も理由に関係することに気付かせる。
- ・自分が働くとしたらどんな理由かということも考えさせる。
- ・ワークシートの各項目であてはまる場所を選び、理由を書かせる。
- ・働く理由についてグループで話し合い、いろいろな理由から人は働くことを理解させる。
- ・お金のことや生きがいなどいろいろな考えが出るようにする
- ・ワークシートの考えの中から自分が一番大切に思うものを選び、理由を書かせる。
- ・身近にいる人やこれまで関わりを持った人の仕事に対する思いも考えさせる。

キャリア教育の視点

生活・仕事上の多様な役割や意義を理解する。

- ・ワークシートに学習の振り返りを書かせる。

生活や社会とのつながり

社会生活や仕事にはいろいろな役割があることやその大切さに気付かせる。

ふりかえり

(例)

- ・人によって働く理由はいろいろであることがわかった。
- ・これからたくさんの方の意見を聞き、働くことについて考えていきたい。

教科等との関連

学活「委員会活動・勤労奉仕的行事」
道徳「勤労・働くことの意義」
総合「人生の先輩に学ぶ～自己の生き方～」
社会「食料生産に従事している人々の工夫や努力」「工業生産に従事している人々の工夫や努力」